笑顔いっぱい　夢いっぱい

郡山市立安積第三小学校
学校だより　No.10
令和７年　５月　８日
文責：校長　酒井　健

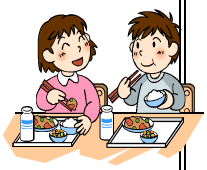
◇学習サポートボランティアの皆さん、ありがとうございます。

安積第三小学校では、新１年生の子どもたちのために、学習サポートボランティアの方々が毎日教室に入っていただき、サポートをしていただいております。子どもたち一人一人に目を配り、適切な言葉かけをしていただいています。朝、おいでいただき、朝の会のお世話、そして給食のお世話もしていただき、子どもたちの下校までサポートしていただくという、長い時間のサポートです。

約１ヶ月ということですので、まもなくサポートは終了となります。安積第三小学校は、地域の皆様に愛され、ご協力・ご支援をたくさんいただいております。心から感謝申し上げます。

【学習サポートボランティアの皆様】

代表　佐藤　明子　様
　　藤根　京子　様
　　村越　和江　様
　　渡邉　裕子　様
　　七海　貴子　様
　　春山　芳子　様



◇かわいいお客様が校長室にも来ました。

先日、校長室に、かわいいお客様が来ました。２年生の子どもたちが、１年生を連れて学校探検をしてくれたのです。「ここは、校長室だよ」「写真がいっぱいあるでしょう」・・・２年生の子どもたちは、もう立派なお兄さん、お姉さんです。

今度は、この体験をもとに、１年生だけで学校探検をするとのことです。２年生の皆さん、どうもありがとうね！！

◇子どもたちの安全安心はしっかりと見守られています。

４月２３日(水)、安積町防犯協会の皆様による下校指導が行われました。あいにくのお天気ではありましたが、防犯協会の皆様、福島県郡山警察署の皆様、見守り隊の皆様がお出でになり、登下校の注意点などについてお話をいただくとともに、下校指導も行っていただきました。子どもたちの安全安心を地域で守っていくという気持ちがとても伝わりました。

これからも大変お世話になります。何とぞよろしくお願いいたします。

校長のひとりごと

私の大切にしている言葉に「まだまだの自分」という言葉があります。人は、いくら頑張っても、いくら上達したとしても満足することなく、「まだまだ」「まだまだ」と自分に言い聞かせることで、さらに伸びていく、さらに視野が広がるということです。この言葉は、私が尊敬する元校長先生からお聞きした言葉です。

ちなみに、この「まだまだ」という言葉の反対の意味の言葉は・・・「そこそこ」かなと思います。「まだまだの自分」を胸に、さらなる努力をしていくか、それとも「そこそこの自分」で満足してしまうか・・・私は「まだまだの自分」を選びたいものです。先日の誕生日で６１歳となった私ですが、「まだまだの自分」が、いつも心の中にいます。まだまだ、「まだまだ」なんです。